

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	海外未送還遺骨情報収集事業		担当部局庁	社会・援護局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	援護企画課外事室		山口 昌巳		
会計区分	一般会計		施策名	IV-8-2 戦没者の遺骨の帰還等を行うことにより、戦没者遺族を慰藉する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	先の大戦による海外日本人戦没者の遺骨帰還等の計画的な実施に資するため、残存する日本人戦没者の遺骨情報を収集することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	南方地域(フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、インドネシア)及び旧ソ連地域に残存する日本人戦没者等の遺骨の情報について、日本国内及び現地において情報を収集し、遺骨情報に基づいた調査を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	62	119	108	123	135	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	62	119	108	123	135	
		執行額	62	119	48			
	執行率(%)	100	100	44				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業の目的である戦没者遺族の慰藉による成果については、定量的な把握、指標設定が困難		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	海外未送還遺骨情報収集事業の実施数		活動実績 (当初見込み)	回	11	20 (16)	10 (14)	- (15)
単位当たりコスト	4,800,000(円/回)		算出根拠	H23予算執行額48百万円/H23活動実績10回				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	遺骨帰還等委託費	123	135	-				
	計	123	135					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 状況・ 予算の 状	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・海外戦没者の遺骨帰還の取組は、遺族はもとより国民感情としても放置しておくことのできない大きな課題であり、遺骨帰還の促進を図る本事業は国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	・遺骨帰還の取組は、本来国の責務であり国主体で行われるものである。本事業は、国において実施要綱を定め、民間団体へ委託することにより、効果的な情報収集を行うこととしている。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	・相手国の事情等により、一部について事業実施を延期したため不用が生じている。
資金の 流れ、 費目・ 使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・(企画競争による選定) 海外未送還遺骨情報収集事業は、旧主要戦域の現地事情に精通し、幅広い情報網を有しているとともに、遺骨帰還事業等の趣旨を理解し、適切に事業が実施できる団体に委託する必要があるため。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	・コストは、事業実施地域の状況により変動があるが、事業の実施状況及び実績報告書の内容の精査を行っている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・事業実施にあたり必要なものだけに限定されている。
活動 実績、 成果 実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・事業をより効果的に実施するため、旧主要戦域の現地事情に精通し、幅広い情報網を有するとともに、遺骨帰還事業等の趣旨を理解し、適切に事業が実施できる団体に委託して実施することとしている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	・相手国の事情等により、一部について事業実施を延期したため実績が目標を下回っている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	・本事業によって得られた情報に基づき、政府の遺骨帰還団を派遣し、本国への遺骨の送還を行っている。
点 検 結 果	平成23年度は相手国の事情等により、一部事業の実施を延期したが、事業を実施した地域からは、遺骨帰還に結びつく有用な情報が得られている。引き続き、事業実施について相手国との調整を図るとともに、必要な経費を精査し適切な情報収集事業を実施していくこととする。		
予算監視・効率化チームの所見			
現 状 通 り	本事業の必要性などの評価は概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現 状 通 り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	459	平成23年行政事業レビュー	417

【平成23年度実績額】

厚生労働省
48百万円

【企画競争・委託】

A 民間団体等(1者)
48百万円

東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島における
海外未送還遺骨情報収集事業の実施

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.財団法人 日本遺族会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	車両、船舶借り上げ等	15			
雑役務費	調査員、通訳雇上費	14			
旅費	国内旅費、外国旅費	10			
賃金	事務補助職員雇上費	3			
消耗品費	コピー用紙代、医薬品代	3			
消費税	消費税	2			
その他	通信運搬費、印刷製本費、会議費	1			
計		48	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本遺族会	東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島における遺骨情報収集事業	48	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					